

資料 19 : 医学部の入学定員の削減の推移^{*1}

文部科学省 (2005.5.24)

区分	ピーク時の入学定員 (昭和 59 年度) (A)	要削減数 (10%) (B)	削減状況			平成 16 年度 の入学定員 (F=A-E)
			平成 10 年度まで (C)	平成 11 年度～ 平成 16 年度まで (D)	合計 (E=C+D)	
国立	4,580 人	458 人	480 人 [10.5%]	10 人 [0.2%]	490 人 [10.7%]	4,090 人
公立	660 人	66 人	5 人 [0.8%]	0 人 [0%]	5 人 [0.8%]	655 人
私立	3,040 人	304 人	155 人 [5.1%]	5 人 [0.2%]	160 人 [5.3%]	2,880 人
合計	8,280 人	828 人	640 人 [7.7%]	15 人 [0.2%]	655 人 [7.9%]	7,625 人

- (注) 1. 私立大学については、募集人員である。
2. [] は、(A) に対する削減割合である。

資料 20 : 臨床研修の到達目標^{*2}

厚生労働省 (2005.6)

【到達目標】

I 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度

II 経験目標

A 経験すべき診察法・検査・手技

B 経験すべき症状・病態・疾患

C 特定の医療現場の経験

臨床研修の基本理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできる

ものでなければならない。

I 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度

(1) 患者-医師関係

患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するために、

1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。

2) 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。

3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。

(2) チーム医療

医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調するために、

1) 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。

2) 上級及び同僚医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。

^{*1}http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/029/siryo/05062701/011.htm (accessed 18 July 2006)

^{*2}<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/rinsyo/keii/030818/030818b.html> (accessed 18 July 2006)